

2009年2月18日

VOL. 27

とっとり・グローバルウォッチ

とっとり貿易支援センター情報誌

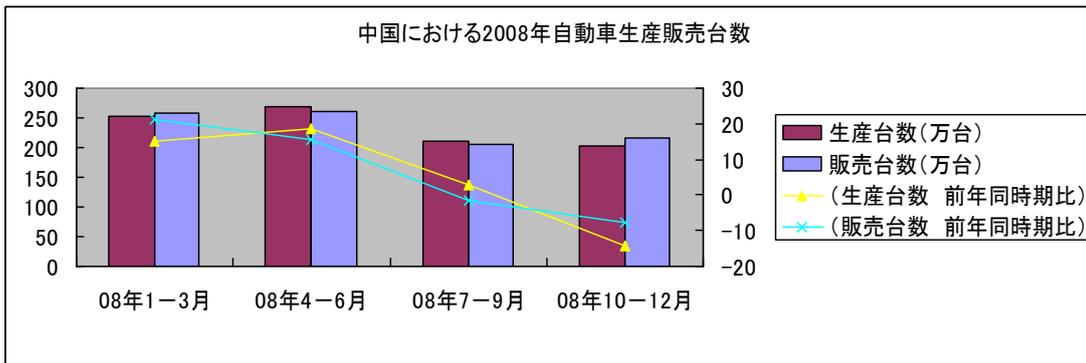
最新上海 ～現地レポート～ ⑪

自動車市場 その3

日本では、連日大手メーカーの業績予想の下方修正や雇用状況の悪化などが伝えられているが、旧正月（春節）商戦を終えた中国では各業界における2008年のデータが出揃いつつある。シリーズで紹介してきた自動車市場も今回が最終回。今号は自動車市場の最新のデータと共に、中国に進出している自動車部品メーカーの話なども伺っているので、紹介していきたい。

■2008年中国自動車市場と支援策

2月4日、中国自動車工業協会が2008年の自動車生産及び販売台数を発表した。2008年生産台数は934.51万台、販売台数は938.05万台となり、前年の生産台数が888.24万台、販売台数が879.15万台と比べるといずれも増加しているが、細かく見ると世界的な経済状況に大きく影響していることが分かる。



上のグラフは2008年の実績を4半期に分けて表したものである。2008年前半においては順調に増加していたが、後半になると生産・販売台数共に下降しており、前年度同時期比でもマイナス。2008年の自動車販売台数の伸び率が10年ぶりに1ケタ台にとどまった。自動車市場救済支援策が検討されてきたが、1月国務院は支援策を実施することを決定した。内容は次の通りである。

<排気量1600cc以下の車種取得税の減免>

今年1月20日～12月31日の期間中1600cc以下の車種を購入した場合には、車種取得税を10%から5%に引き下げる。

<販売促進の下支え>

農村部での三輪自動車や低速貨物トラックから小型トラックや小型乗用車への買換えに、総額50億元の補助金の支給。

このほか、昨年12月18日国務院は燃料税

改革の実施を発表している。これまでガソリンと軽油の消費税は1L当たりそれぞれ0.2元と0.1元だったが、1元と0.8元に引上げ、道路整備費などの6項目の費用徴収を停止するとした。

お正月商戦ならぬ春節商戦も存在する。自動車市場が冷え込んだこの時期、北京の自動車市場では上記に挙げた車種取得税の減免が功を奏し、1600cc以下の車種の販売台数が多かったという。北京のある自動車市場では、春節期間4営業日における販売車種のほとんどが1600cc以下だと話している。上海においても、北京と同様に車種取得税減免のため自動車市場には活気が出たが、これに反し保守的な見方もある。ナンバープレートのオークション制度や駐車場にかかる費用を考えると、上海での自動車周辺全体にかかるコストは低いとは言えない。そのため新政策の効果は他外省市ほど大きくないとの声も挙がっている。

<次頁へ続く>

目次

最新上海 ～現地レポート～⑪	P 1 P 2
FOOD TAIPEI 2009 出展企業募集について	P 2
現地発! 台湾月刊レポート⑩	P 3 P 4
イベント情報	P 4
公邸料理人からみた ウヰオの食事情	P 5 P 6

世界の祝日～3月～

- 韓国 1日 独立運動記念日
- アラブ首長国連邦
9日 ムハムド誕生祭
- ロシア 8日 国際婦人デー
9日 国際婦人デー振替休日

出所：ジェトロ通商弘報
 「世界の祝祭日2009年版」から

■支援策の自動車メーカーへの影響

上述で、支援策により1600cc以下の自動車販売台数の増加を紹介した。自動車部品メーカーに話を伺ったところ、すでに1600cc以下の車種の増産を実施している日系自動車メーカーがあるという事実のほか、政府が大きく動いているため、市場全体の回復が早くなるのではないかと話していた。また燃料税改革により燃費効率への関心が高まると思われるが、その点から言うと日本車への注目度が大きくなるだろうと期待が持てるとのことだ。

中国政府は乗用車の電化化に向け、中短期ではハイブリッドカー、プラグインハイブリッドカーを、長期的には電気自動車を主流として自動車開発を進めていく方針だという。これら環境に配慮した自動車開発は日本の技術が期待されるところでもある。

日系自動車メーカーに期待できることは技術面だけではない。日系企業に勤務する上海在住の中国人Cにこの

ような話を聞いた。「依然として中国で人気があるのは欧米系の自動車だが、販売店などのサービスが充実しているのは日系自動車メーカーである」。自動車好きでもあるCは、休日を利用して自動車販売店舗に足を運んでみたそうだ。その際の店員の対応振りを総じて見ると、日系自動車メーカーがダントツだった。商品説明は当然のこと、入店からの接客態度は他国メーカーの販売店とは比較にならなかったという。

中国自動車メーカーがフィリピンでの自動車販売を開始した。外資系自動車メーカーのシェアの高いフィリピン市場への挑戦、これは中国のこれからが期待されるニュースでもある。2009年は始まったばかり。自動車市場からの影響も大きい中国経済であるが、世界の経済動向を含めて見ていきたい。

【(株)チャイナワーク 孫】

FOOD TAIPEI 2009 出展企業募集について

(財)鳥取県産業振興機構では、台湾・台北市で毎年開催される国際食品見本市「FOOD TAIPEI」に3年連続で出展し、台湾の食品市場へ販路開拓を目指す企業の皆様を支援してまいりました。この間、鳥取県の優れた産品が徐々に台湾の人々に受け入れられ、素晴らしい成果を挙げております。当財団では、今年も本展示会に「(財)鳥取県産業振興機構ブース」を出展することとし、下記のとおり出展者を募集します。

(但し、当財団の出展については、鳥取県議会による21年度予算の承認を条件とします。)



昨年の会場の様子

1. 「FOOD TAIPEI 2009」(第19回台湾国際食品見本市)概要

会 期：2009年6月23日(火)～26日(金)9：00～17：00
 会 場：台北ワールド・トレード・センター(TWTC)南港ホール
 主催者：Taiwan External Trade Development Council(TAITRA)
 展示面積：29,049㎡(昨年実績)
 出品国数：27カ国・地域(昨年実績)
 来場者数：50,215人(昨年実績)
 ジェトロ所管「日本パビリオン」のうち「企業出展ブース」：64小間

2. 当財団出展概要

- ・出品内容は、日本国内で生産された食品及び飲料一般とします。
- ・ジェトロが設置する「日本パビリオン」に「(財)鳥取県産業振興機構ブース」として6小間(6～8社程度)出展します。(ブース数は、出展希望企業数により変更の可能性があります。)
- ・出展スペースは、展示品等を考慮し出展者の意見調整のうえ決定しますが、最終的には当財団が決定いたします。
- ・出展については新規企業を優先し、同一企業による出展は3回までとします。
- ・出展会期の全日程を通じて、社員の方にブースで商談・PRしていただきます。
- ・貿易支援アドバイザー等を現地に派遣し、商談時のサポートを行います。
- ・会期終了後に、引き続き出展者の希望により商談を通じ成約の可能性が高いと思われる企業への訪問をサポートします。(案件により有償となる場合もあります。)
- ・会期中、及び会期後、当財団及びジェトロが行う商談成果アンケートにご協力いただきます。

3. 申込期限 2009年2月27日(金) 17：00

当財団URL (<http://www.toriton.or.jp/>) より申込用紙をダウンロードし、必要事項をご記入の上、海外支援グループまでファクシミリでお申し込み下さい。審査会で選考後、出展企業を決定いたします。

4. 申込・問合せ先

(財)鳥取県産業振興機構海外支援グループ(担当：早川、中島)
 TEL:0857-52-6703 FAX:0857-52-6782 E-mail:kaigai@toriton.or.jp

【(財)鳥取県産業振興機構海外支援グループ 早川】

現地発！台湾月刊レポート②

台湾鉄道弁当事情 — 高鉄、台鉄、そして駅売。

台湾の鉄道弁当が人気である。ちなみに台湾では「弁当」のことを「便當」と書くので注意。台湾には、車内で販売する弁当と駅付近の弁当業者が販売するものがある。まず車内販売弁当を見てみよう。台湾新幹線「高鉄」と在来線の台湾鉄道「台鉄」では、車内弁当を競いあっている。

■ 1車両たったの8個、高鉄「夢幻弁当」とは…

それは、ラッキーな人のみ買える弁当であった。高鉄では、昨年末から4種類の弁当販売を始めた。驚くことにそれまで軽食はあったものの車内販売弁当はなかった。これが2月現在、毎日特定列車のみ販売している。最近、この高鉄弁当にあだ名がついた。それは「夢幻弁当」。その心は、超美味だから？違う！単に買うことが難しいからだ。なぜなら一列車には、たったの8個。つまり一車両あたりたったの0.6個。車内パンフレットで写真だけ見ることができるといふ幻弁当なのである。本物を見た人は、ほとんどいないと言う。弁当には「鳥」と「豚肉」2種類の味がある。価格は、1個120台湾元（340日本円）。行きは鶏肉、帰りは豚肉。本来なら行って来いで2種類の味が楽しめるはずなのだが。これらの弁当は、昼と夜の特定列車のみ提供される。

さて、実際に乗った人の話を聞いてみよう。午前10時半発の列車に乗ったAさんは、ちょうど弁当搭載列車に行き当たった。車内販売員が通りかかったので、弁当を欲しいと言ったところ「この列車には8個の弁当しか積んでいない。もう既に売り切れた。以前は、高鉄の乗客が少なかったので、売残れを恐れ少ししか積んでいない」と言われた。Bさんは、この「夢幻弁当」をゲットした数少ない幸運な人だ。しかし一家4人で手に入れたのは、たった1個の弁当。ひとり2口だったそうな。乗客は販売員に文句を言うが、販売員いわく「私に言ってもしょうがないわ。会社がこれしか配布しないんだから。私だってどうしようもないのよ」。

この伝説の弁当は、鉄道オタクの李さんによると、台鉄のように車内で「弁当！弁当！」と叫ばせたくない、また車内販売員も弁当を売っている事を乗客に秘密にしているらしい、とイヤミを言っている。だから一般乗客は、駅で台鉄の駅弁を購入し、高鉄車内で食べている。高鉄では、車内弁当を2箇所で作っている。毎日の作成個数が1,200から1,300個であるが、食事時間になるべく多く売るようにしているとの事。廃棄しないための適正個数が8個/列車だそうだ。ではこの「夢幻弁当」を手に入れるには、どうしたらよいか。高鉄曰く、販売員のカートには、3個程度しか載っていない。第1カートは、5号車から1号車へ向かい、第2カートは、7号車から12号車へ向かう。第3カートは、第6号のグリーン車両専用販売カートとのこと。よって中間車両付近に座ることがポイント。台北から高雄に向かう時は、台北駅の隣の板橋駅から、高雄から台北に向かうときは、台南から販売開始だそうだ。あるいは、乗ったとたん販売員に、予約することも可能だそうである。みなさんも台湾新幹線「高鉄」に乗ったときは、ぜひチャレンジされ

たい。それにしてもそうまでして買って美味しいのかは、申し訳ないが私も分かりません。申し訳ございません！

■ 台鉄「平民弁当」が人気な理由

さて、次に台湾在来線の「台鉄」を見てみよう。高鉄が「夢幻弁当」なら台鉄は「平民弁当」というところ。台鉄によると、昼と夜の食事時間には1車両あたり100から120個の弁当を積んでいる。しかし台鉄も馬鹿にしてはいけならしい。なぜなら、高鉄に比べて圧倒的に乗車時間が長い「見つけたら即買う」これが鉄則だそう。台鉄の車内弁当は、高雄、花蓮、台中、松山（台北）のレストラン部門が提供している。弁当の中身はそれぞれに特色があり違う。しかしメインデッシュは、骨付き肉。値段は60元（170日本円）から80元（230日本円）。この値段の違いは何か。なんと、80元弁当の肉は「マッサージ肉」なのだ。食べるとムチムチ感がたまらない。60元弁当は、硬いらしい。

台鉄が優れている点は、主要駅売店で買えること。おかげも多い。高鉄では、駅で売っていないのだ。台鉄では、長距離列車で且つ昼・夜ごはん時に、提供している。提供量も多い。しかし休日混雑時には、台鉄でさえも「夢幻弁当」になる

ことがあるとの事。カートの後方においてある弁当が、ない時もあるのでご注意ください。2、3時間、飢えで苦しんでも食べる物が何もないことになるので注意が必要だ。

台鉄では、車両の先頭より後ろに向かって販売員がカートを押していく。だからどうしても買いたい時は、前方車両へ行くことが肝心。鉄道旅行のプロは「弁当」の声を微かに聞いた途端席を立ち、前車両に猪突猛進し買い求めるとのこと。台鉄曰く「弁当の販売予測は大変に難しい。ある時は、団体客がいきなり数十個を買い求め売り切れたりする。」廃棄している量も凄まじい。去年は、10万個の弁当を廃棄処分にしたとのこと。販売員には、販売奨励制度があり、1個売れば8元を出している。こうした



1. 台鐵北上車次發售車次(發售車次詳列於車) 2. 高鉄發售車次(發售車次詳列於車) 3. 台鐵發售車次(發售車次詳列於車) 4. 高鉄發售車次(發售車次詳列於車)

高鉄、台鉄の弁当メニュー

< 次頁へ続く >

いと販売員は、本気で声をからし売らないからだそう
だ。もし不幸にも車内で売切れてしまった場合は、車内
販売員に声をかけて欲しいとのこと。保障はできない
が、これから通る駅で調べてくれる可能性もあるとのこ
と（私の個人的意見だがこれはないと思う）。本当に欲
しい団体客等は、予約専門電話に連絡して欲しいとのこ
とである。さて、台湾鉄道弁当ゲットの鉄則をまとめて
おこう。

第一：「先手必勝」

先に言ったもの勝ち。乗ったらすぐに販売員を探し予
約しよう。

第二：「主動出撃」

自分で出撃に動く事が肝心。高铁は真ん中車両、台鉄
は前から。

第三：「眼明手快」

眼を開け耳をダンボにし販売員が来るのを見つけ走り
捕まえる。

第四：「亡羊補牢」

台鉄では、嘉義と羅東が弁当の中継駅である。よって
弁当無き場合は、事前に販売員に買いたい旨を言っ
ておこう。ただし、買える保障はない。

■筆者おすすめの台湾三大駅売弁当をご紹介します

最後に駅付近のプラットホームで販売する弁当業者に
ついて書こう。私が勝手に決めた台湾三大駅売弁当は
「台東の池上便當」、「阿里山の奮起湖便當」、「台湾
北部の福隆駅便當」であろう。特にお勧めは池上便當で



ある。これは本当に美味い。私は、台東に行くた
びに池上に寄り、2個を平らげる。うまいっ。頬
が緩む。池上駅前には、この弁当を製造している
食堂が複数ある。お勧めは、駅を降りて向かって
右側。台北市内でも「池上便當」を名乗る店がた
くさんあるが、比べ物にならない。懐かしい木箱
に入っており、日本統治時代に米の産地となった
池上で昭和十五年に山形米を中心に販売開始され
たそうだ。この弁当は当主によって進化しており
最近の弁当は、こんな感じ（写真上）だ。弁当の
値段は、1個60元（170日
本円）。中身（写真下）は、日本語での説明が難しいの
だが、139号台湾米、青菜、三層肉、ソーセージ、蘿蔔
乾、味付ゆで卵、四季豆、炒めた鶏肉巻、生姜片、花瓜
片、豆酥柴魚など。本店内では、ワカメ&骨からとった
スープも提供される。このスープも美味い。ぜひ台湾の
本当の美味しいものを味わって欲しい。台東駅でも売っ
ているようだ。

【柵スナーク 富田】

イベント情報

柵さかいみなと貿易センター からのお知らせ

「初歩から学ぶ貿易実務講座」 のご案内

「これから貿易を始めたい」「貿易
実務の基礎を再確認したい」といっ
た方々を対象に、貿易に関する初歩
の初歩からご説明する貿易実務講座
を開催します。多くの皆様のご参加
を心よりお待ちしております。

日時：2009年3月4日～5日 2日間
10：00～17：00

場所：国際ファミリープラザ
3階 稲盛ホール

講師：曾我しのぶ氏

(柵アースリンク 代表
貿易アドバイザー)

申込締切：2009年2月28日

問合せ先：

柵さかいみなと貿易センター
担当：黒見
電話：0859-47-3900
FAX：0859-47-3906

鳥取県文化観光局交流推進課 からのお知らせ

「台湾観光貿易セミナー」 のご案内

鳥取県と台湾は、二十世紀梨等の
輸出やチャーター便による観光客の
受け入れなどを通じて密接な交流関
係を築いています。台湾との交流を
推進するきっかけとして、是非本セ
ミナーにご参加ください。

日時：2009年2月23日
16：00～17：00

場所：ホテルモナーク鳥取
2階「鳳翔の間」

講師：台湾観光協会大阪事務所

徐世榮 所長
台湾貿易センター大阪事務所

張恵莉 所長

参加費：無料

申込締切：2009年2月20日

問合せ先：

鳥取県文化観光局交流推進課
担当：田口、山崎
電話：0857-26-7122

韓国貿易センター大阪 からのお知らせ

韓国食品見本市 「Seoul Food 2009」のご案内

今年も韓国京畿道高陽市(コヤン)
の韓国最大の展示会場であるKINTEX
国際展示場において標記展示会を開
催します。なお、参観のみも募集中
です。

会期：2009年5月13日～16日
会場：KINTEX韓国国際展示場

主催：KOTRA ほか

費用：1ブース(基本ブース)
\$3,015。

申込締切：2009年3月又は
定員になるまで

問合せ先：

韓国貿易センター大阪

担当：市場開拓部

李(リ)ムヨン

電話：06-6262-3831

FAX：06-6262-4607

公邸料理人から見たウラジオストクの食事情

日本からウラジオストクへの食品輸出の可能性④

■日本製品への信用

これまで何度か言及しましたが、日本製品というのはウラジオストクだけではなく、世界的に評価が高いことは言うまでもありません。ウラジオストクでも自動車や家電等の機械関係、生理用品や生活必需品、食品等、全てにおいて他国の評価を上回っていると思います。そんな日本の隣にあるウラジオストクでは、必然的に日本製品が求められていくわけで、日本から見ても新しい市場として考えられています。また、比較される食品は中国産、アメリカ産なので、高品質かつ危険性のない日本製品は少々値段が高くて購入する人が多い理由の一つとなっています。

たとえば、アメリカ産のりんごが300円、中国産のりんごが50円、日本産のりんごが500円として、どのりんごが購入されるのでしょうか。私であれば、アメリカ産か日本産で悩むと思います。その人の生活力にもよりますが、金銭に余裕があるロシア人は値段を見ずに日本産を買い、一般の人はアメリカ産を買い、家に客人を招く時であれば、日本産を買うでしょう。所得の少ない人は中国産を買い、これらの人は中国産が危険であることを重々承知していても安いものを買わざるを得ないという状況なのです。



上段の棚はアメリカ産と中国産のりんご。下段の棚は日本産。

近年の経済成長により、安全性の高いものが求められてきていますが、中でもアメリカ産のものより日本産のものが多く求められていると思います。また今後、日本からの食品輸出が盛んになれば、日本産のものも安くなると思います。アメリカ産と同じ値段であれば、100人が100人日本産を購入するでしょう。

《日本から輸入されれば人気となることが予想される食材》
西洋野菜全般、サラダ類、フルーツ全般

■食育への意識と経済の余裕

現在、「食育」という言葉を日本でよく聞きますが、ウラジオストクでも非常に関心が高まってきています。上流階級を中心に、健康に良い、安全で安心して食べられる食品の購入を考えている家庭が近年増えてきています。

ソ連崩壊直後のことを考えると、今とは全く別の環境のようです。ほんの20年前まで、じゃが芋一つ買うのにマイナス30度の中、行列に並び、凍えた手でじゃが芋を持ち帰った人々が、今は家族や子供のことを考え、日本では考えられない高い値段の野菜を購入している。またその反面、ソ連崩壊後同じ状況だったにも関わらず、そういった環境に入れず、健康に害があるとわかっていても中国からの野菜に頼っている人々もたくさんいます。

このように色々な家庭がありますが、共通して言えることは、子供の食育について多くの人意識しているということであり、健康を考えた生活を望んでいる人が日本と同様にいます。ただ日本のように安定した市場はまだないので、一部の人々しか満足に食育を実践できないという現状です。

日本産の食品が浜田港から、また今後、境港から定期的に輸出されますと、今までのように珍しい食品というわけではなくなってきますから、無駄なコストはなくなりますし、低価格でウラジオストクの市内で販売されるでしょう。そうなれば、今まで中国野菜しか購入できなかった方々も安心、安全な食品に手が届くことになるでしょう。



市場に並んでいる中国産の野菜

■ウラジオストクの税関の変化

昨年の春頃から総領事公邸での利用を含め、日本からウラジオストクへの食品輸出を総領事館でも後押しさせていただいています。とはいうものの、なかなかうまくいかないこともあり、ウラジオストク港の税関がスピーディーに動いていないのも事実です。現在、ウラジオストクのFESCOという海運会社により島根県から輸送していただいているわけですが、昨年8月末にこういった例がありました。

ウラジオストクの港には窓口が数箇所あり、主に自動車関係のものが中心で、食品関係はあまり定着していません。冷蔵庫のある場所に島根県からの食品が下ろされるように税関と話がついていたのですが、別の場所に下ろされてしまい、さらに税関責任者が不在で、5日間放置されました。当然、腐りやすいものは全て腐ってしまい、また一緒にコンテナに入っていた食品にも悪臭がつ

いてしまい使用できない状況になっていました。

これは、税関が島根県からの食品に対して、まだ上手く機能していない点が理由として挙げられます。日本と違い非常にややこしいシステムと言いますか、不透明で恣意的なシステムで運営されているのです。これは、外国から入ってくるものは危険性があると考えられているためでもあり、近年では南米から大量の女性用下着に麻薬をしのばせ、ロシア国内に密輸されたケースもありますから、ロシアの税関が厳しいのもある面では仕方ないとも言えます。

とはいえ、そういった税関でも日本からの輸入品に対しては特別に窓口がつけられており、経験を積めば通常に運営されると思われます。

税関でのいろいろなトラブルが考えられる間は、日持ちする食材をお勧めしますが、これまでにレタス等の野菜やメロン、イチゴなどいろいろ試みたところ、特に鮮度の点で問題なく、ウラジオストクに着いてからも1週間ほどは、きちんと管理すれば問題ありませんでした。日本での販売と比較すれば厳しいものもありますが、現在ウラジオストクで販売されている他国の食材と比較しても良い状態で、今後は通常に輸入が可能になると考えています。

■まとめ

現在、ウラジオストクにある日本産の食材は年々値段が下がってきているものの、まだまだ高級品であることには変わりありません。

しかし、税関の問題が解決しつつある点を踏まえて考えれば、今後必要と考えられるのは市場での安定した需要と供給です。この点は、浜田港、境港からの食品輸出により可能性を見せてきています。

今後、極東地域におけるロシア人による卸業務と日本からの輸出が安定すれば、価格は自然と下がってくるでしょう。そうなった時に、日本からの食材はウラジオストク及び近郊に広がる可能性が高いと思います。また高所得者に対し、特に健康を意識し、味にこだわった食材を提供するいわゆる宅配サービスによるケータリングビジネスなども考えられると思います。

現在ウラジオストクでは人口減少が問題とされています。この主な理由として、平均所得が生活していくために必要な水準まで達していないことから、中国などの外国、モスクワ、サンクトペテルブルクなどに移り住む若者が多いからだと言われています。ですが、こういった食品産業が盛んになれば、山陰地方とウラジオストクの活性化につながり、将来の発展に繋がっていくのではないのでしょうか。

これまで、私のつたない文章にお付き合いいただきありがとうございました。私はビジネスの視点でウラジオストクの食事情をお伝えしましたが、ウラジオストクの方々は、最初とはつきにくい人もいますが慣れてくると人懐っこい人が多く、私自身、非常にお世話になった方々もたくさんいます。日露間には解決すべき問題も多いですが、今後のロシア極東地域と山陰地域に必要なのは人と人とのつながりであると思いますし、両地域の交流が発展すれば、日露友好の大きな一歩として貢献されていくのではないのでしょうか。

さて、申し遅れましたが私は総領事の離任に伴い、先月29日にウラジオストクでの任務を終え日本に一時帰国しております。次の進路は未定ですが、また鳥取県にもおじゃましますので、私をお見かけの際は声を掛けていただければ幸いです。皆様のご健勝とご成功を心よりお祈り申し上げ、筆を置きます。

【元 在ウラジオストク日本国総領事公邸料理人、
とっとりふるさと大使 末広 亮】

編集後記

不景気でも自分の希望する仕事に就くためには資格が大事と考える人が多いようで、あるアンケートによると、2009年取りたい資格の上位に、語学系では英語と韓国語がランクインしています。

語学を習得するには時間がかかりますが、そこから広がる世界を想像すると、素晴らしいコミュニケーション手段だと思いませんか？例えば、中国語が話せれば、中国の人口約13億人、台湾の人口約2,300万人、更に世界中に住む華僑、華人と会話ができるのです。（単純計算ですが…）

母国語以外の言葉で相手と意思疎通を図る時には、誤解を招くことがあったり、自分が本当に言いたいことを理解してもらえなかったりもしますが、それ以上に、心が通じ合った時の喜びは大きいものです。【r】

『とっとり・グローバルウォッチ』では、皆様から、内容のご提案や掲載されている情報へのご意見・ご感想をお待ちしております。メールでお気軽にお寄せください。また、受信希望（無料）の方は下記までご連絡ください。

お問い合わせ：（財）鳥取県産業振興機構企業支援部
海外支援グループ（担当：早川）

E-mail : kaigai@toriton.or.jp
TEL : 0857-52-6703 FAX : 0857-52-6782

とっとり貿易支援センター 貿易に関する相談はこちらの窓口へ

【東部窓口】

■（財）鳥取県産業振興機構企業支援部
海外支援グループ

TEL 0857-52-6703

■ジェットロ鳥取貿易情報センター

TEL 0857-52-4335

【西部窓口】

■樹さかいみなと貿易センター

TEL 0859-47-3900

■境港貿易振興会

TEL 0859-47-3905

【その他関係機関】

■境港管理組合港湾管理委員会事務局

TEL 0859-42-3705

■ジェットロ貿易相談デスク

TEL 0859-45-2203